

iTherapistO

添付文書

取扱説明書



管理医療機器
電位・超短波組合せ家庭用医療機器(JMDNコード:71000000)
アイセラピスト (iTherapistO)
医療機器認証番号 231ACBZX00002000

目次

正しく安全にお使いいただくために……………	2~13
一般的注意事項……………	4
使用前のご注意……………	6
使用中のご注意……………	8
使用後のご注意……………	10
保管方法及び有効期間等……………	10
取扱上のご注意……………	11
保守・点検に係る事項……………	11
iTherapistOの構成内容……………	14
本体の各部名称とはたらき……………	16
iTherapistOの主な特長……………	20
超短波	
基本的な使用例……………	22
ご使用前の準備……………	24
本体の操作方法……………	26
電位	
基本的な使用例……………	30
ご使用前の準備……………	31
本体の操作方法……………	32
局所電位	
基本的な使用例……………	36
ご使用前の準備……………	36
本体の操作方法……………	37
テスターの使い方……………	40
音量調節……………	41
輝度調節……………	42
エラーメッセージ……………	42
電子療法について……………	42
故障かな?と思ったら……………	43
お客様安心サービス……………	裏表紙
・保証書とユーザー登録カードについて	
・アフターサービス・ISO認証取得	

このたびは「iTherapistO」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。
また、いつでもお読みいただけるよう、大切に保管してください。

正しく安全にお使いいただくために

- 取扱説明書は本治療器を安全にお使いいただくために必要です。治療器を人に貸したり、差し上げるときには必ずこの取扱説明書を一緒にお渡してください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよく読み、注意事項を守り正しくお使いください。

禁忌・禁止

次のような人及び部位には、使用しないでください。

	超短波	電位
・ 高度な末しょう（梢）循環障害による知覚障害のある人（糖尿病などによる温熱に対して感覚の鈍い人）	×	×
・ 重度な血行障害のある部位	×	
・ 中程度以上の重い浮腫のある部位	×	
・ 血友病などの出血性素因の高い人	×	
・ 心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人		×
・ 温熱に対して感覚の鈍い人や温度感覚喪失が認められる人	×	×
・ 金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ部位	×	
・ 刺青及びその周辺部位	×	
・ ラメ素材等化粧品が使用されている部位	×	
・ 出血部位または月経時の腹部	×	
・ 乳幼児（6才以下）	×	×
・ 男性生殖器	×	
・ 適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人	×	×
・ 頭部（脳、目、耳等）	×	×
・ その他、医師が不相当と認めた人	×	×

併用禁忌

・ ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器とは同時に使用しないでください。	×	×
・ 心電計などの装着形の医用電気機器とは同時に使用しないでください。	×	×
・ 補聴器とは同時に使用しないでください。	×	
・ 他の医療機器や電気機器とは同時に使用しないでください。使用する場合は時間をずらして使用してください。	×	×

- あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表わしていますので、内容を理解してから本文をお読みください。



危険

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。



警告

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が想定される内容を示します。

表示例



は、本器の取扱いにおいて、発火、破裂、高温等に対する注意を喚起するための絵表示です。

※表示例は「感電注意」です。



は、本器の取扱いにおいて、その行為を禁止する絵表示です。

※表示例は「分解禁止」です。



は、本器の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する絵表示です。

※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。



愛情点検

は、修理点検の確認をお願いする絵表示です。

この取扱説明書のイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

正しく安全にお使いいただくために

一般的注意事項（共通）

危険

- 浴室などの湿度の高い所では使用しないでください。
- 電床マットの上では、超短波（マイクロ波を含む）を使用しないでください。
電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。（電床マットが本体に接続されていない場合も同様です）

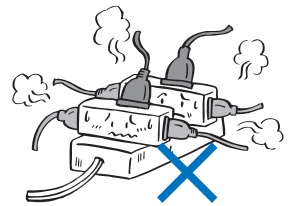


警告

- 他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。
規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。
- 治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。
特にペットへの使用は避けてください。
- 本体側面の通気孔をふさぐような使い方（壁に寄せるなど）はしないでください。
本体内部が熱をもち、故障の原因となります。
- 本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。
本体内部で「結露現象」が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用するときは移動後2時間以上経過してから電源を入れてください。
- 交流 100V、50/60Hz 以外では使用しないでください。
規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。
- 定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。
操作を誤ると事故や故障の原因となります。

警告

- 本体の出力口に差し込んだプラグを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。
プラグや出力口が破損し、事故や故障の原因となります。
- 本体の上に重いものや飲み物などを置かないでください。
内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。
- コード類のプラグにゴミ、ほこりなどを付着させたまま使用しないでください。
発火、ショートなどの原因となります。
- 電源コードなどすべてのコード類を傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。
- コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。
タコ足配線などで定格容量を超えると発熱による火災の原因となります。また、タコ足配線をすると本器や他の電気製品が互いに誤作動する可能性があります。





注意



- 本器は、一人用家庭用治療器であり、複数の人が同時に使用しないでください。
- 治療部位や症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。取扱説明書をよくお読みになり、定められた使用時間を超えないようにしてください。不明な点はお求めの販売店またはお客様センター（裏表紙）に相談してください。
- 使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。

本器を設置する際は、次の点に注意してください。

警告



-  水のかからない場所に設置してください。
-  補助を必要とする人（子供を含む）には使用させないでください（ただし、保護者、医師または専門家の監督下で使用する場合は除く）。また、子供が機器本体及び導子で遊んだり、上に乗ったりしないようにしてください。

注意




-  本体は安定状態を保つように心がけ、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないように注意してください。
-  温度、湿度、日光、ほこり、及び塩分・イオン分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置してください。
劣化を早め、事故や故障の原因となります。

一般的注意事項（超短波）

危険


-  超短波治療をする場合、電床マット・局所電位導子は、必ず本体から抜いてください。また、局所電位導子は身体から離し、電床マットは取り除いてください。
火傷や、焼け焦げの原因となります。
-  治療中、温感が高すぎると感じたときは、我慢せずに治療を中止してください。または、タオルなどをあてて、熱さを弱めて治療してください。

警告



-  超短波導子にソース・醤油・墨汁・インクなどをこぼした場合は、火傷または熱傷、ならびに焼け焦げの原因となりますので、新しい導子と交換してください。また、導子カバーは、洗濯などで汚れを落とし、十分乾燥させてからご使用ください。
-  導子を強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。
-  超短波導子は水に濡らさないでください。万一濡らしてしまった場合は、使用せず、新しい導子と交換してください。

次の機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがありますので使用しないでください。

危険

-  電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。
例) 電位（高周波を含む）電床マット
電気毛布や敷布、電気カーペット
電気毛布や電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。

警告

-  他の治療器や電気製品（電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないでください。
過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気カーペットが焦げるなど事故の原因となります。
-  電動ベッドの上では使用しないでください。
誤作動や故障の原因となります。

正しく安全にお使いいただくために

一般的注意事項（電位）

警告

- 電床マットや局所電位導子に金属を接触させたり出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、電床マットと局所電位導子のコードには、金属類を近づけたり他の電気のコードと交わらないようにしてください。

感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。

- 使用中は他の人や金属類に触れたり、リモコンや電話機を操作したりしないでください。

ピリッとしたり、ノイズを発生させたり、故障の原因となります。

- 電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。

警告

- 電床マットや局所電位導子が濡れていたり、湿っている場合は、十分に乾燥させてから使用してください。ドライヤーを使用したり、ストーブにあてるなど急激な乾燥はしないで、陰干しなど自然に乾燥させてください。

- 電床マットや局所電位導子は、金属製のイスや湿った布団など電気を通しやすいものの上や下で使用しないでください。

注意

- 梅雨期や湿気の多い地域では、電床マットを十分乾燥させるなど、絶縁状態をできるだけよくしてください。絶縁状態が悪くなると効果が弱まります。

使用前のご注意（共通）

警告

- 導子（コード、プラグを含む）の損傷やコネクタの接続不良などが無いか、使用前に確認してください。万が一、不具合が確認された場合は、使用しないでください。

販売店または製造販売元へお問い合わせください。

- 導子を使用する際は、正しく装着してください。また、同じ部位で2つの導子を重ねて治療しないでください。

- 全てのコードは容易に離脱しないように正しく確実に接続してください。

発火やショートなどの原因となります。

注意

- しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。

スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。

- スイッチ、タイマーなどが正常に作動するか確認してください。

次の人は介護者のもとで使用してください。

警告

- マヒなどで身体の自由が利かない人

警告

- 7～12歳の子供

次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。

警告

- 認知症の人や、意思表示ができない人

- 判断能力を欠くほどお酒を飲んだ人

警告

- 睡眠薬を飲んだ人（判断能力を欠き事故の原因となります）

次の人は、医師と相談の上、使用してください。

警告

- ❗ 病名などがはっきりしない人
- ❗ 悪性しゅよう（腫瘍）のある人
- ❗ 心臓に障害のある人
- ❗ 妊産婦
- ❗ 体温 38℃以上（有熱期）の人
例1）急性炎症症状〔けん（倦）怠感、悪寒、
血圧変動など〕の強い時期
例2）衰弱しているとき

警告

- ❗ 安静を必要とする人
- ❗ せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、
肉離れなど、急性〔とう（疼）痛性〕疾
患の人
- ❗ 寝たきりの人
- ❗ その他医師の治療を受けている人や身体
に異常を感じている人

使用前のご注意（超短波）

警告

- ❗ 次のものを身に付けたまま使用しないで
ください。また、不明な点は機器の販売
店または製造販売元へお問い合わせくだ
さい。

- ・使い捨てカイロ
- ・金属類（ネックレス、ベルト、時計、
メガネ、イヤリング、車のキー（キー
レスエントリーキー含む）など）
- ・導電性衣料（光により熱が高まる機能
繊維、サンダーロン[®]繊維使用もしくは
ジャンヌ・ダルク[®]などのサンダーロ
ン[®]繊維を含む肌着などの衣料、ラメ
入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静
電気防止用繊維など）

また、次のようなものの上や周囲では使
用しないでください。

- ・特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）
や炭素材入り布団・まくら
- ・磁気入り布団
- ・墨入り（炭素材など）の畳
- ・ソース・醤油・墨汁・インクなどのシ
ミがついた座布団・布団・畳

火傷または熱傷などの事故の原因となります。

- ❗ 治療部位の皮膚が乾燥していることを確
認してください。湿布剤、塗膏剤などが
塗られていたり、汗などで濡れている場
合は、必ず拭き乾燥させてください。

皮膚が濡れたままで治療すると火傷または熱
傷の原因となります。

- ⊘ おむつを使用している部位へは照射しな
いでください。

火傷などの危険があります。

- ⊘ 絆創膏または湿布などの湿った包交物、
ゲルマや磁気治療器などの金属物を含む
絆創膏の上への照射は避けてください。

警告

- ⊘ 気分が悪くなることがありますので、空
腹時、腹部に超短波を透射することは避
けてください。

- ⊘ 使用中の導子を本体や金属類（電気製品、
ワゴン、ラメ入り畳や座布団など）、付属
品類（電床マット、接続コードなど）の上
に絶対に置かないでください。

熱をもち事故や故障の原因となります。

- ⊘ 汚れた衣服や汗などで濡れたタオルを使
用して治療をするのはおやめください。

- ⊘ 導子コードを束ねたり、巻きつけて使用
しないでください。

熱をもち事故や故障の原因となります。

注意

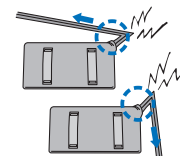
- ❗ 導子コードは、超短波の影響を受けやす
いもの（金属や炭素繊維など）や、他の
電気製品のコードと接触しないように配
置してください。

- ⊘ 金属枠を使用したイスやベッドなどの上
で使用しないでください。

ピリツとしたり、火傷または熱傷の原因とな
ります。また、治療中に周囲のイスやベッド
などの金属部や、他の人に触らないよう注意
してください。

- ❗ 下図のような方向にコードが引っぱられ
ないように、治療器本体を置いてご使用
ください。

コード付け根部分の芯線が断線しやすくなり
ます。



※「サンダーロン」、「ジャンヌ・ダルク」は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

正しく安全にお使いいただくために

次の人は、医師と相談の上、使用してください。



血栓症の人



低温やけどをしたことのある人



血圧異常の人

次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。



皮膚知覚が低下している人、または部位



成長期の子供の骨端、または骨が非常に突起した部位

使用前のご注意（電位）



金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。



周囲の人は、治療中の人に触れないでください。



導子が濡れている場合には、使用しないでください。



使用中の人は、周囲の人または物に触れないでください。



局所電位導子は、必ず治療を行っている使用者自身で使用し、他人が持って使用することはしないでください。



局所電位導子の導子部は、頭部または皮膚疾患部には接触させないでください。

次の人は、医師と相談の上、使用してください。



血管障害の恐れのある血圧異常の人

1時間以上使用する場合、次の人は、医師と相談の上使用してください。



高血圧の人



不整脈のある人



睡眠時無呼吸症の人



ぜん（喘）息の人

使用中のご注意（共通）



本器に異常を感じたとき（異常音がする・本体が熱いなど）は、直ちに使用を中止してください。

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



導子に金属を接触させたり、出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、導子のコードには金属類を近づけたり、他の電気のコードと交わらないようにしてください。

感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。



治療目的にあった治療時間・出力を超えないように注意してください。



身体に異常を感じたり、現れたりしたとき（発赤など）は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

症状が悪くなることがあります。



雷や地震、停電時は使用を中止し、スイッチなどを元の位置に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

復帰時に事故や故障の恐れがあります。

注意 本器は使いやすい姿勢で、緊張せずリラックスして治療してください。

注意 使用中、導子コードの抜き差しをしないでください。また、抜くときは電源が切れていることを確認してください。事故や故障の原因となります。

使用中のご注意（超短波）

警告

! 使用当初、低血圧や貧血、または虚弱体質の人は、疲労感を覚えることがあります。また、身体異常（発赤、腫脹、頭痛、ふしぶしの痛みなど）が現れたり、感じたときは、直ちに使用を中止してください。

中止しても症状が軽減しない場合は、医師に相談してください。

! 導子コードは特性上、使用中に一定の熱を持ちます。また、長時間の使用や使用方法、出力設定などによっては、温度が上昇することがあります。

! 超短波導子は素肌の上から直接あてず、またコードも直接素肌に触れないようにして、必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

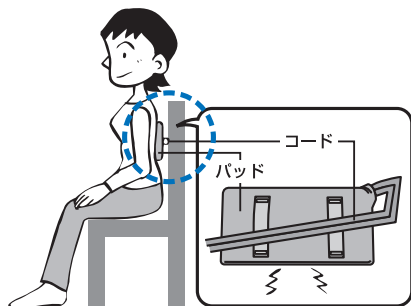
直接あてると、火傷または熱傷などの原因となります。

! ひじ・膝など骨のとび出た部位へ導子をあてるときは、衣服の上から使用する場合でも、乾いたタオルをあてがってください。

火傷の原因となります。

! 超短波導子のパッドとイス・ベッド・床などの間にコードが挟まった状態で使用しないでください。

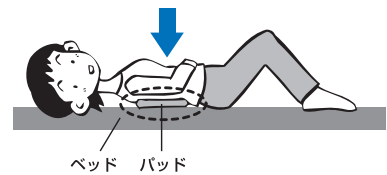
パッドがコードに作用して、異常発熱する恐れがあります。



警告

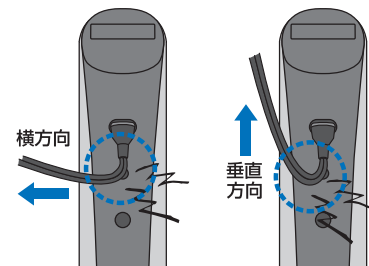
! 超短波導子のパッドが身体とイス・ベッド・床などの間で強く圧迫された状態での使用はお避けください。

パッドが発熱したり、火傷または熱傷をする恐れがあります。またイス・ベッド・床・ふとんなどが焦げる恐れもあります。



! 使用中、下図のような方向にコードを引っばらないでください。また、超短波導子を抜く際は、プラグを持って抜いてください。

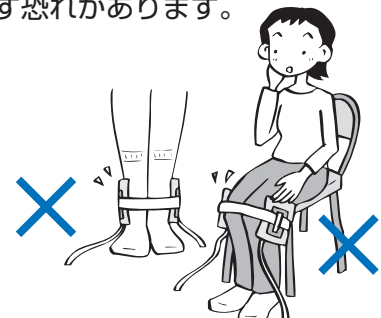
プラグの根元や内部で断線しやすくなります。



! 治療中に汗をかいた場合は、すぐに拭いてください。

火傷の原因となります。

! 足首や膝を合わせた状態で導子をあてる治療は、絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても、左右の足が触れることがあり、接触部に火傷または熱傷を起こす恐れがあります。



正しく安全にお使いいただくために

⚠️ 注意

- ⊘ 治療中にむやみに超短波導子やコードに触れないようにご注意ください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
チリッと熱い感覚を受けることがあります。
- ⊘ 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- ⊘ 電話（携帯電話を含む）やインターフォン、テレビのリモコンやパソコン、精密機器

⚠️ 注意

などを使用しながら治療しないでください。また使用中の電話機やインターフォン、自動ドアや火災報知器のセンサーの近くで治療しないでください。

電話機にノイズが入ったり、故障の原因となります。他の電気製品とはできるだけ（2m以上）距離をあけて使用してください。他の電気製品に異常を起こしたり、逆に電気製品の影響で異常が発生したりする恐れがあります。

使用中のご注意（電位）

⚠️ 警告

- ⊘ 電位治療中は、局所電位導子を併用しないでください。

使用後のご注意（共通）

⚠️ 警告

- 🔌 電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠️ 注意

- ❗ 次回の使用に支障がないように清浄にし、整理保管してください。また、お手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗いなどはしないでください。変色・変形の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。

⚠️ 注意

- 🔌 使用を中断する場合や使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。導子のプラグも出力口から抜くなど、治療後は使用前の状態に戻してください。

- ❗ コード類の抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。
コードを持って行くと断線やショートなどの原因となります。



- ❗ 機器を衛生的に保つための清掃、予防点検及び保守に関しては、「保守・点検に係る事項」を参照してください。

保管方法及び有効期間等（共通）

保管場所については次の事項に注意してください。故障の原因になることがあります。

⚠️ 警告

- ⊘ 風呂場、台所、車の中、火気の近く、直射日光の当たる場所など、湿度の高い場所やほこりの多い場所、水のかかる場所ならびに塩分・イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのある場所には保管しないでください。






機器の寿命を縮めたり、熱や水分などにより本体変形や、火災や感電などの原因となります。

⚠️ 注意



- ❗ お子様の手が届かない所に保管してください。落としてけがや破損の原因となります。
- ❗ 本体は安定状態を保つように心がけ、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないように注意してください。
- 🔌 長期間で使用にならない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

取扱上のご注意（共通）

警告


-  濡れた手で本体の操作は、絶対におやめください。
感電の原因となります。
-  機器及び付属品または容器・包装品などを廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。
-  本体や付属品が傷ついたり破損している場合は、使用しないで買い求めの販売店または製造販売元へご連絡ください。
-  本体ケースは絶対に開けないでください。内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。
-  間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷または熱傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。

警告



-  機器を他にぶつかけたり、倒したり、落下など強い振動や衝撃を与えないでください。そのときに異常がなくても内部の損傷が進み、故障、事故の原因になることがあります。
誤って落とした場合は、必ず点検を受けてください。
-  一度使用した医療機器（中古医療機器）を業として他に販売、譲渡または貸与する場合は、必ず事前に製造販売元へ連絡してください。
点検・修理を行い安全を確認された機器以外は、販売・貸与・譲渡はできません。
注）販売・貸与を業として行うには、「管理医療機器販売業」と「管理医療機器貸与業」の届けをして、さらに「古物営業法」の許可を受けていることが必要です。

取扱上のご注意（電位）

警告

-  電床マットは、強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。


警告

-  電床マットにアイロンをかけたり、アイロン台の代わりにしないでください。
-  ナフタリンなどの防虫剤と一緒に保管しないでください。



保守・点検に係る事項（共通）

注意事項

警告

-  愛機点検 本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に導子類の付属品は消耗品ですので、定期的に交換してください。
使用状態・条件により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

警告

-  本体のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
感電などの事故の原因となります。
-  本体や付属品を勝手に修理したり、改造したりしないでください。
故障かなと思ったら使用を中止し、買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。

正しく安全にお使いいただくために



3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合があります。



本体及び付属品のお手入れに際しては、シンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。変色、変質の原因となります。
アルコール、水、ぬるま湯または中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭いてください。

使用者による保守点検事項



機器及び付属品は使用に際し、正しく作動することを日常的に点検してください。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してください。



事前のチェックや点検などで不具合（付属品の絶縁：電源コードなどコード類のキズ、ひび割れ、断線のしかかり、電源プラグやコネクタの接続不良など）が見られた場合は必ず販売店または、製造販売元にご連絡ください。

業者による保守点検事項



性能を維持し、安全に使用するため、定期的（1年を目安）にお求めいただいた販売店または製造販売元に「定期点検」を依頼してください。



消耗部品（付属品を含む）は定期的に交換し、付属品及び機器使用中の危険防止を図ってください。

保守・点検に係る事項（超短波）

注意事項



超短波導子は消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱ってください。

また、使用頻度、条件により異なりますが、付属品は遅くとも3年以内で早めに交換してください。
※ P.13 「交換部品及び消耗品」を参照してください。

保守・点検に係る事項（電位）

注意事項



電床マットは消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱ってください。

また、使用頻度、条件により異なりますが、付属品は遅くとも3年以内で早めに交換してください。
※ P.13 「交換部品及び消耗品」を参照してください。

保守点検項目

項目	内容	方法
外観及び表示について	外観に損傷はないか、パネルは変形していないか、表示がちらついたりしていないか確認する。	目視による確認
操作	電源スイッチをONにし、正常に動作するか、不具合はないか確認する。	操作による確認
付属品	損傷部分はないか、コードに断線部分はないか確認する。	目視による確認

交換部品及び消耗品

名称	交換方法	交換時期
超短波導子	販売店または製造販売元に依頼	導子の使用時間が決められた時間を超えた場合 (※音声アナウンスにてお知らせ) (※使用積算時間によっては、3年未満で交換案内のアナウンスが流れることがあります)
電床マット		点検により劣化が認められたとき 購入から3年以内が目安
装着ベルト		点検により劣化が認められたとき
局所電位導子		

iTherapistOの構成内容

本器を初めてご使用になる前に、以下の付属品が揃っているか必ずご確認ください。

本 体

※本体の各部名称とはたらきについてはP.16～19を参照ください。



●超短波

周波数	27.12MHz ± 162.72kHz
超短波出力	50W ± 30%
タイマー	30分

●電位

出力電圧	9000V ± 20%
タイマー	60分
波高値	12700V

●局所電位

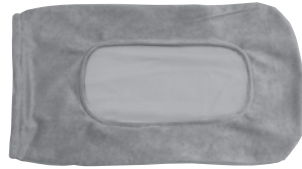
出力電圧	800V
タイマー	20分
波高値	1100V

製品名	アイセラピスト(iTherapistO)
定格電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	超短波 150W / 電位 20W
本体寸法(mm)	205 (幅) × 354 (奥行) × 626 (高さ)
本体重量	約 13.0kg

標準付属品

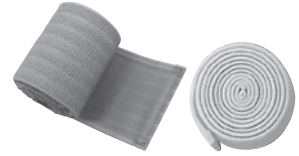


コイル導子

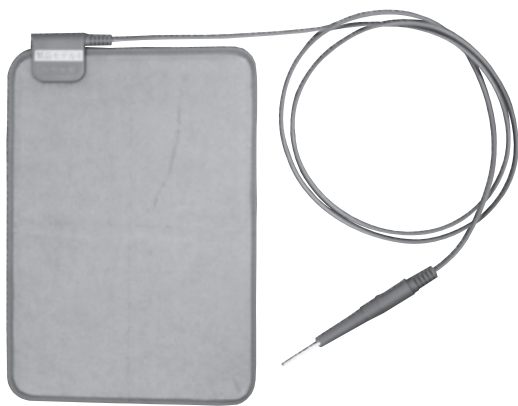


コイル導子用カバー

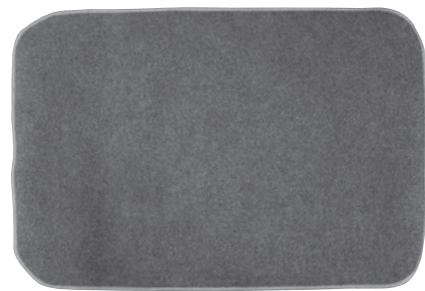
工場出荷時はコイル導子にセットされています。



装着ベルト〈L・AW〉



電床マット



絶縁マット



絶縁スペーサー



局所電位導子



テスター



単3形アルカリ
乾電池 (2本)



電源コード

別売オプション品



コンデンサー導子



コンデンサー導子用カバー

工場出荷時はコンデンサー導子に
セットされています。



装着ベルト〈S・AW〉

本体の各部名称とはたらき



本体正面

7インチLCD

治療モード、タイマー、出力などを表示します。

※本器のLCDはタッチディスプレイではありません。

電源スイッチ

スイッチを押して、電源の「入」「切」を行います。電源が入ると起動画面が表示された後、モード選択画面が表示されます。

治療開始/一時停止スイッチ

スイッチを押すと治療を開始します。いずれかの導子を差し込み、対応するモードのボタンを押し、出力と時間を設定してからこのボタンを押してください。

出力LED

超短波・電位の出力中に点灯します。

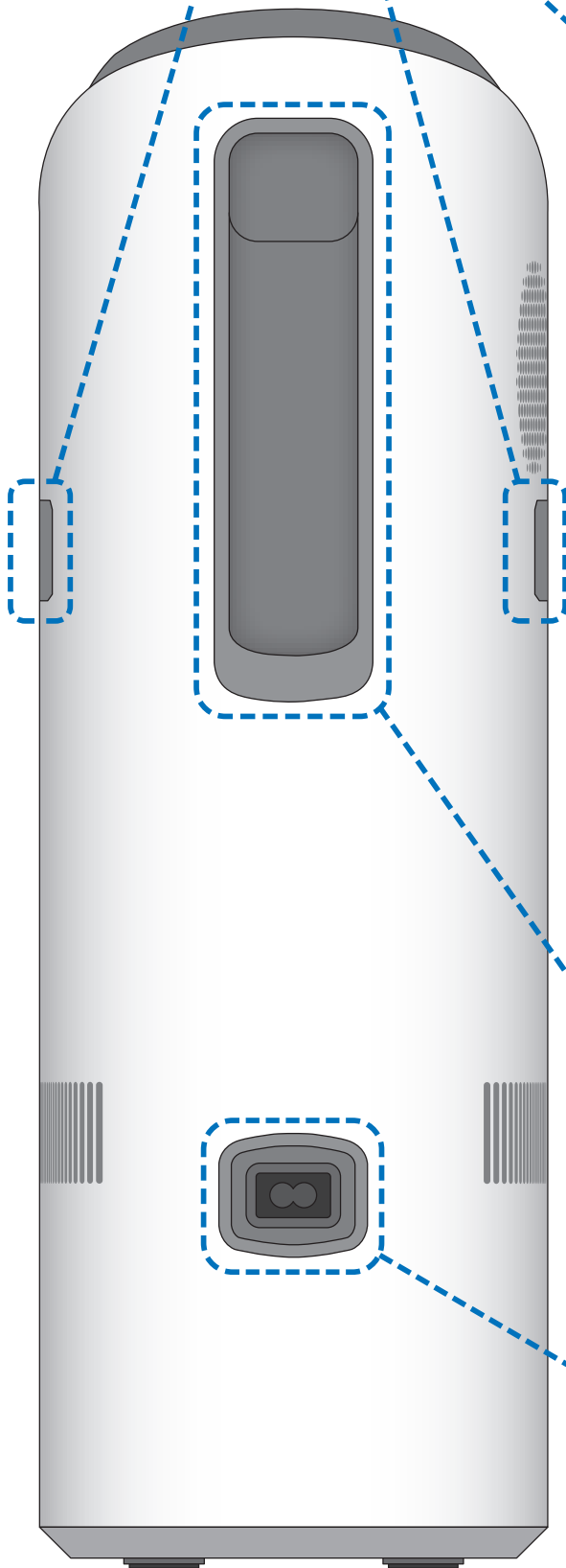
出力口

各導子のプラグを差し込みます。上から超短波導子、局所電位導子、電床マットのプラグを差し込んでください。

※プラグは確実に差し込んでください。

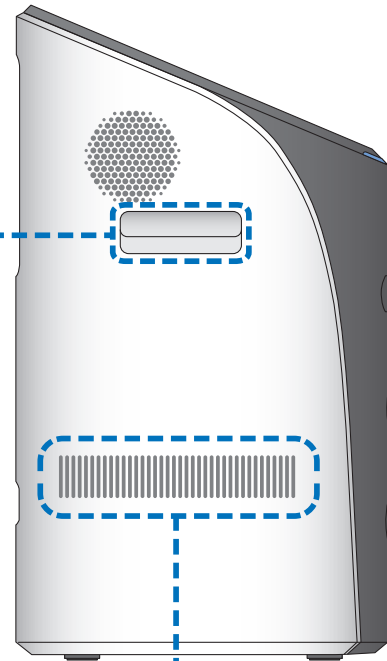
取っ手

移動の際はしっかり
持ってください。



本体背面

本体側面

**通気孔（側面）**

通気孔をふさがないでください。壁に寄せて使用しないでください。

※本体内部が熱をもち、故障や発火の原因となります。

また、通気孔につくほこりは、定期的に掃除機などで吸い取ってください。

テスター収納ポケット

テスターを収納できます。

電源インレット（電源コード差込口）

電源コードを差し込みます。使用しないときは必ずコンセントおよび電源コード差込口からコードを抜いてください。

本体の各部名称とはたらき

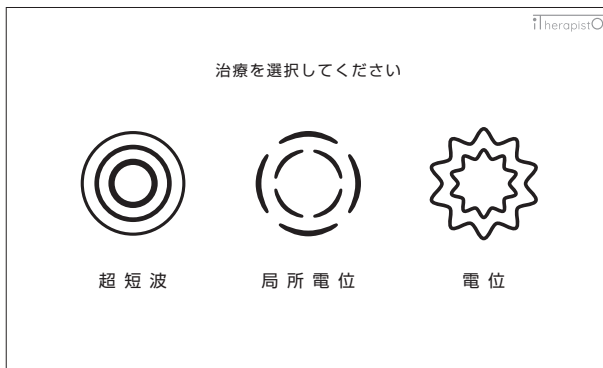
操作パネル



※本器のLCDはタッチディスプレイではありません。

モード設定について

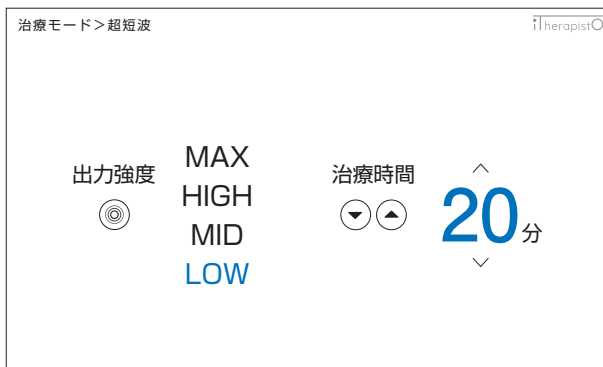
ディスプレイ表示



モードスイッチ

電源ボタンを押すと、LCDに左の画面が表示されます。使用するモードのスイッチを押してください。

出力調節について



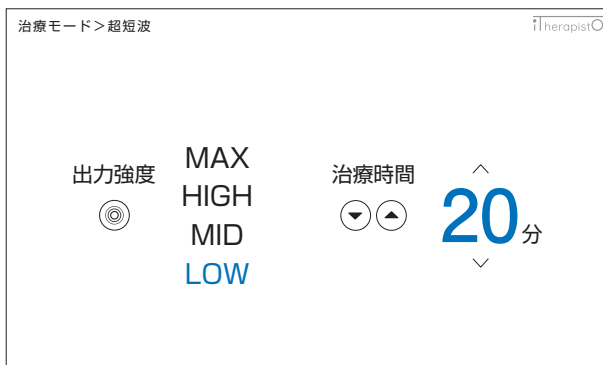
出力調節（超短波、電位のみ）

「超短波」または「電位」モードを選択すると、出力／タイマー設定画面が表示されます。

超短波モードの場合は「◎」ボタン、電位モードの場合は「⊗」ボタンを押して、出力を選びます。

超短波：LOW → MID → HIGH → MAX
電位：4200vp → 8500vp → 12700vp

タイマー設定について

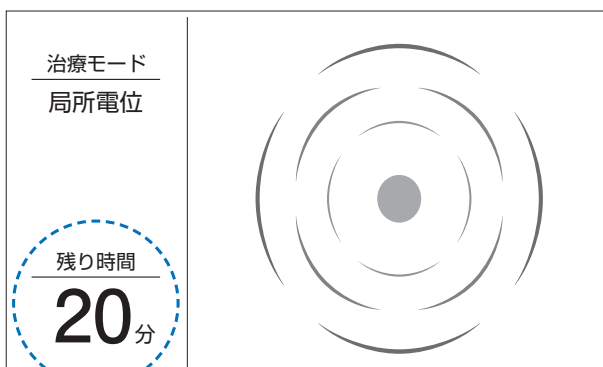


タイマーボタンを押し、治療時間を変更することができます。

超短波：5分、10分、15分、20分、25分、30分

局所電位：5分、10分、15分、20分

電位：5分、10分、20分…… 60分



タイマー表示

治療中は1分ごとに数字が減少し、「治療の残り時間」を表示します。

iTherapistOの主な特長

特長

1

1台で2種類の電子療法

- **超短波療法**……電波の作用で身体の内側から温めます。
- **電位療法**……電気のエネルギー空間に身体を置き、全身を効果的に刺激します。

特長

2

7インチのカラーLCDでわかりやすい画面表示

特長

3

音声によるアナウンス

iTherapistOの使用目的又は効果

使用目的：一般家庭で使用してください。

超短波

■ 超短波による局所の温熱効果

- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉の疲れをとる
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛、筋肉痛の痛みの緩解
- 胃腸の働きを活発にする

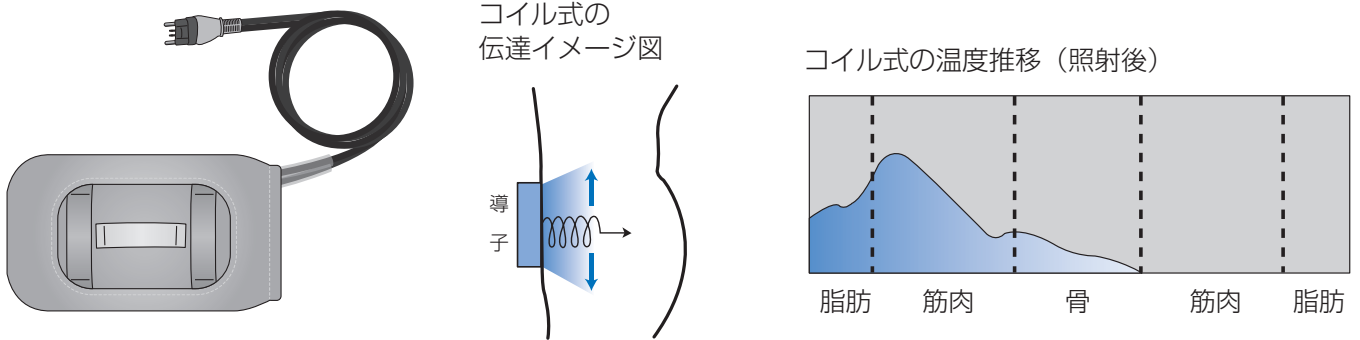
電位

- 頭痛の緩解
- 肩こりの緩解
- 不眠症の緩解
- 慢性便秘の緩解

2つの導子で目的に合った治療を行う「超短波」

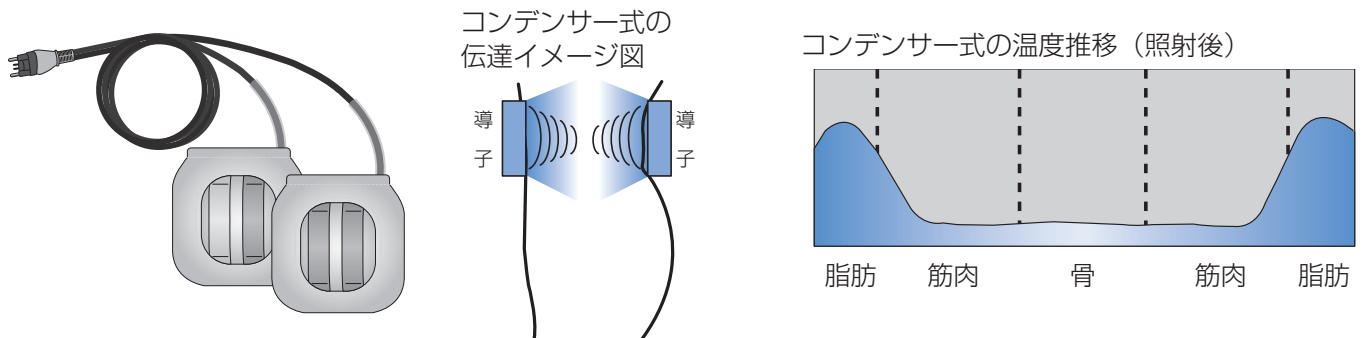
コイル導子

使う導子は1つなのでわずらわしさも少なく便利です。コイル式は超短波のエネルギーが皮下脂肪組織層より、さらに深部の筋肉組織層へ作用します（下イラスト参照）。そのため、脂肪層に囲まれた胃や腸の治療に役立ちます。



コンデンサー導子（別売オプション品）

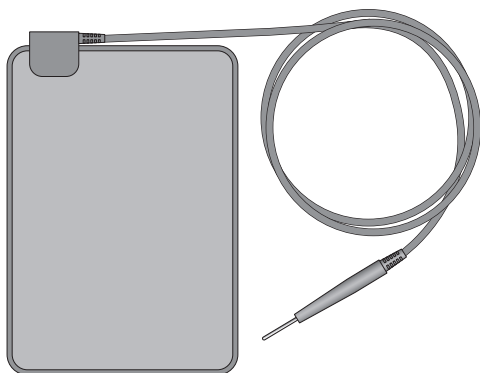
コンデンサー式は2つの導子（電極）で治療部位を挟んだり、並べて使う導子です。脂肪層の少ない肩や膝、足首などの治療に役立ちます。



高出力の「高圧電位」と、ポイント治療の「局所電位」

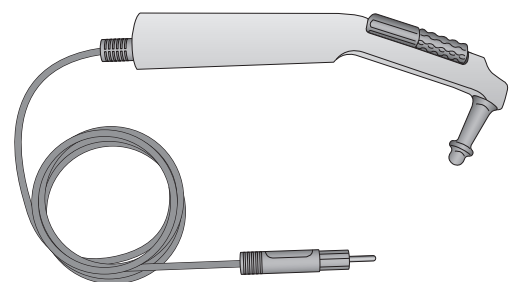
高圧電位

電床マットを使用して、高電圧の出力を行います。



局所電位

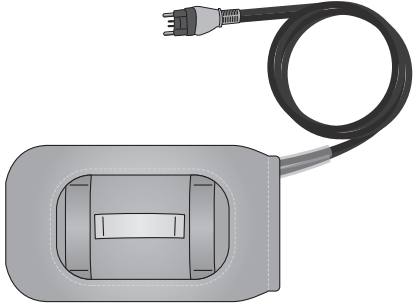
局所電位導子を使用して、肩など気になるポイントを集中治療できます。



超短波 基本的な使用例

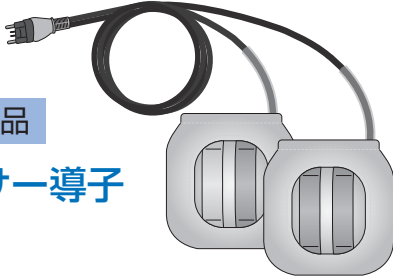
治療にあたって

コイル導子



別売オプション品

コンデンサー導子



超短波のエネルギーが皮下脂肪組織層より、さらに深部の筋肉組織層へ作用します。脂肪層に囲まれた胃や腸などへの治療に役立ちます。

治療部位を挟んで使用します。脂肪層の少ない肩や膝、足首などへの治療に役立ちます。

コイル導子の使用例

脂肪層に囲まれている腹部はコイル導子を使いましょう。

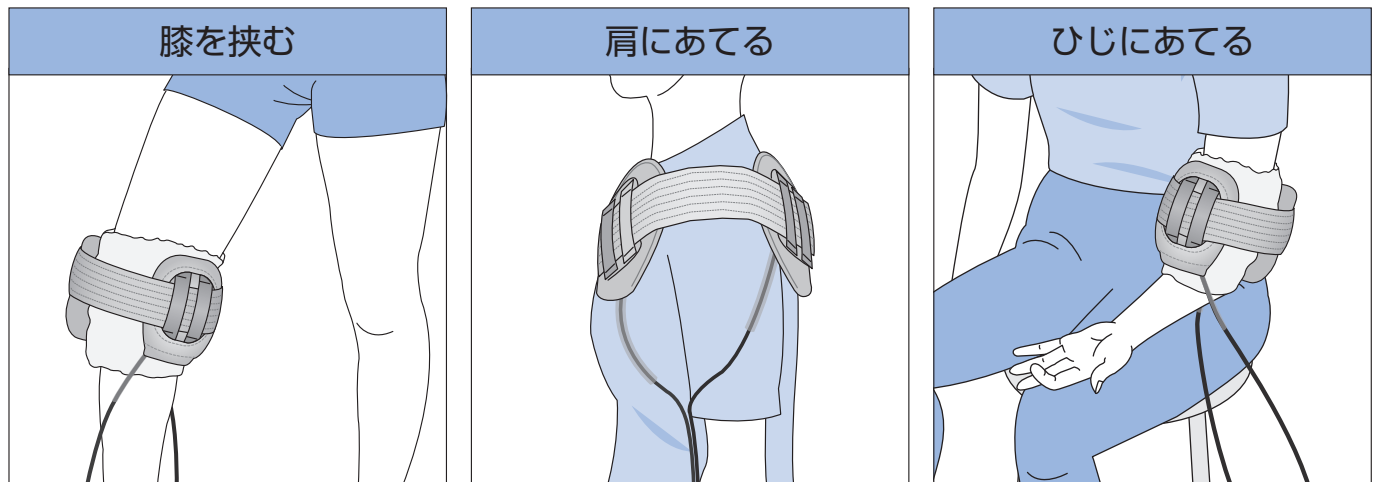
基本療法

<p>あてる身体の部位は へその上</p>	<p>あてる身体の部位は 背中の上 (ひじの高さ)</p>	
<p>あてる身体の部位は 腰</p>	<p>あてる身体の部位は 太腿</p>	<p>あてる身体の部位は 肩</p>

コンデンサー導子（別売オプション品）の使用例

脂肪層の少ない肩や膝などの部位はコンデンサー導子を使いましょう。

基本療法



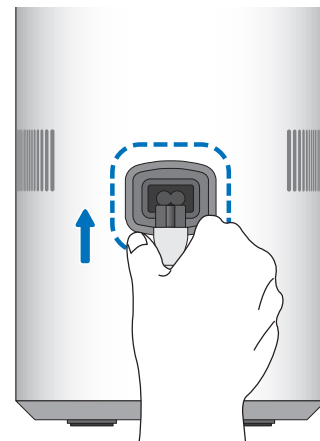
⚠ 導子を使用する際の警告 下記の点に注意して、正しく導子を使用してください。

- 導電性の衣類を着用して治療しないでください。
- 使い捨てカイロやネックレス、ベルトなどの金属類は身体から外してください。
- 導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。
- 電床マットの上では、絶対に治療しないでください。
- 治療するときは皮膚の汗などを拭いてください。
- 濡れている導子は使用しないでください。
- 治療前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動するか確認してください。
- 導子は必ず装着ベルトで固定してください。
- 治療中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
- 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- 足首や膝を合わせた状態で導子をあてる治療は、絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起こす可能性があります。

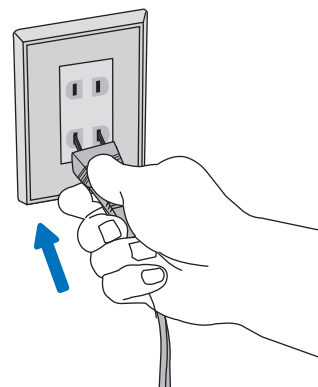


超短波**ご使用前の準備****1 電源コード(コネクター)を差し込む**

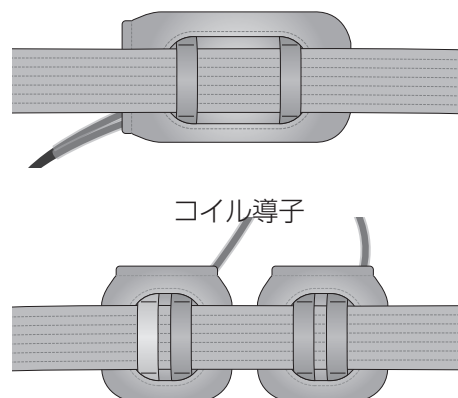
- 電源コードのコネクターを本体の電源コード差込口に差し込みます。

**2 電源プラグを差し込む**

- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。

**3 導子にベルトをセットする**
(導子カバー、装着ベルト〈L・AW〉)

- 治療部位によって、コイル導子またはコンデンサー導子（別売オプション品）を選びます。
- 各導子に装着ベルト〈L・AW〉を通します。

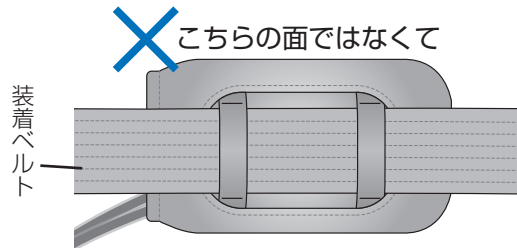


コンデンサー導子(別売オプション品)

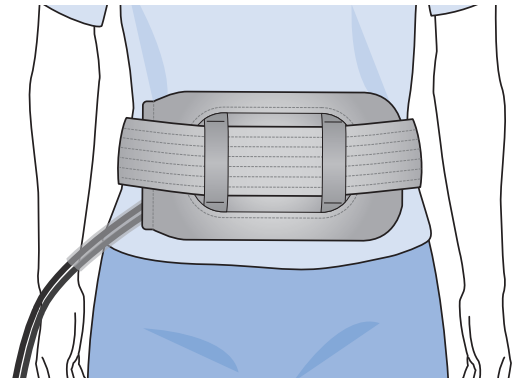
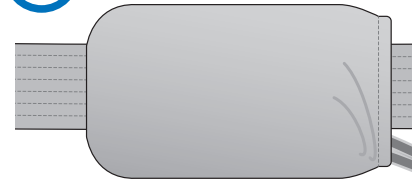
4 治療部位にあてる

- 導子はベルト通しの付いていない面を身体にあてます。

※身体にあてる面は



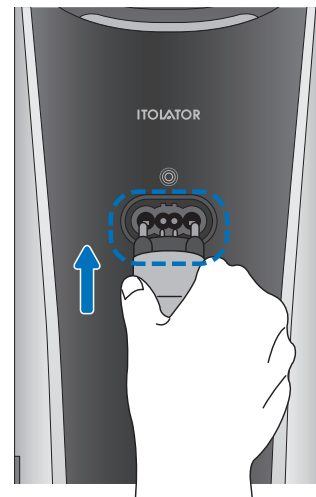
○こちらの面を使います。



5 導子のプラグを差し込む

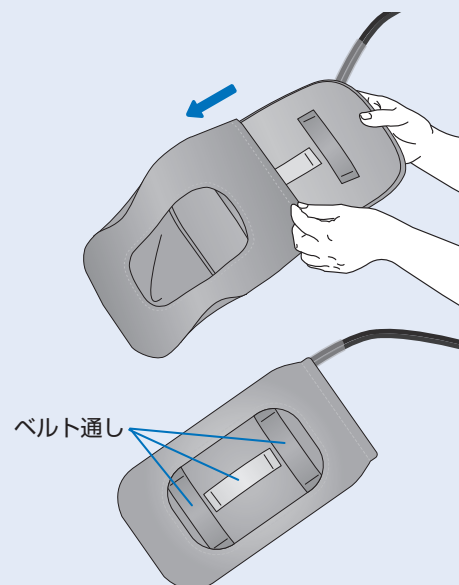
- 使用する導子のプラグを超短波出力口に確実に差し込みます。

※治療開始/一時停止スイッチが点灯するまで差し込んでください。



導子カバーのセット方法

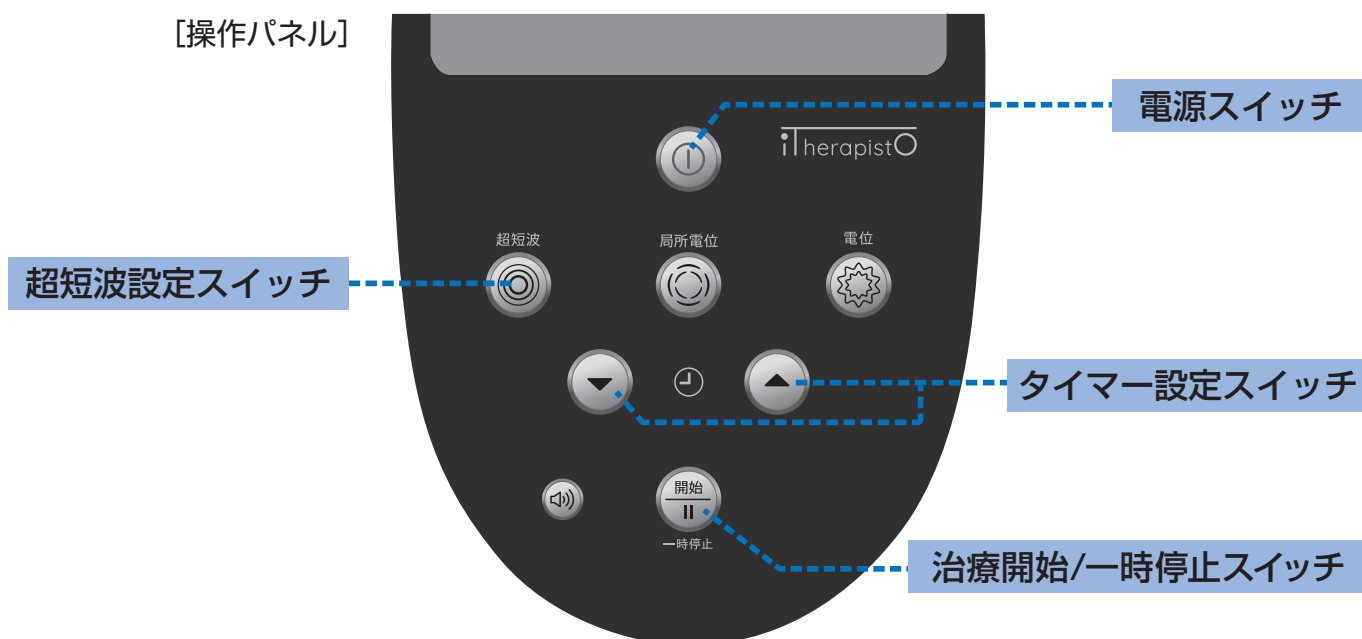
- ①導子カバーの開いた口から導子を入れます。導子のベルト通しがカバーの穴から見える向きにセットします。
- ②奥まできちんと入れた状態で、導子のベルト通しが確認できればセット完了です。



※セットの仕方はコイル導子もコンデンサー導子も同じです。

超短波 本体の操作方法

[操作パネル]



1 電源を入れる

- 電源スイッチを押して電源を入れます。
- 電源を入れると全てのLEDが点灯し、起動音が鳴ります。



2 治療モードを選択する

- 超短波設定スイッチを押して、超短波モードを選択します。

初期状態では「出力：LOW」、「タイマー：20分」の設定が表示されます。

※次回からは、前回使用した設定が表示されます。



3 出力を設定する

- 超短波設定スイッチを押して、出力を選択します。

スイッチを押すごとに、出力設定が以下のように変わります。

LOW → MID → HIGH → MAX

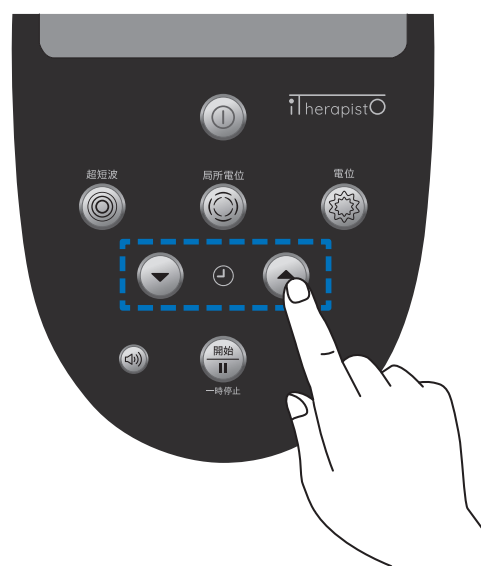


4 タイマーを設定する

- タイマー設定スイッチ ▲ ▼ を押して、治療時間を設定します。

超短波モードでは、次の治療時間が選択できます。

5分、10分、15分、20分、25分、30分



5 治療を開始する

- 治療開始/一時停止スイッチを押し、治療を開始します。

治療が始まると、出力LEDが点灯します。

「超短波治療を開始します。電位治療用の電床の上では使用しないでください」のアナウンスが流れます。

※導子が正しく接続されていない場合、「導子を接続してください」のアナウンスが流れます。その際は、導子を接続した上で再度治療開始/一時停止スイッチを押してください。

※エラーが発生した場合、導子を正しく接続し、電源を入れ直してください。

※治療中に本体から音が出ますが、異常ではありません。



超短波 本体の操作方法 (つづき)

出力の変更

- 出力中に**超短波設定スイッチ**を押すことで出力を変更できます。

中断と再開について

- 治療を中断する場合は、**治療開始/一時停止スイッチ**を押します。
タイマー表示が点滅します。
- 治療を再開する場合は、**治療開始/一時停止スイッチ**を押します。

⚠ 中断時の注意 長時間中断する場合は、必ず電源を切ってください。

エラーについて

治療中に導子が抜けたり、異なる機能の導子が接続された場合、警告音が鳴りエラーメッセージが表示されます。その場合、導子を差し直すか、異なる導子を抜き、電源を切って手順①から再度行ってください。

※詳しくは、P.42「エラーメッセージ」を参照してください。

⚠ 注意

- 導子の使用時間が、定められた使用時間を超えている場合は導子を交換してください。
※音声アナウンスが流れます
- 使用前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動することを確認してください。
- 濡れた手でコード類の抜き差しをしないでください。
- コード類はプラグを持って抜き差ししてください。
- 治療をしながら電話（携帯電話を含む）を使用しないでください。また、使用中の電話機の近くで治療しないでください。
- 他の電気製品の近くでは異常を起こす恐れがあるので使用しないでください。
- 使用中、プラグの抜き差しをしないでください。
- 使用中、他の人や金属類に触れないでください。
- 温感が高いと感じたら我慢せずに使用を中止してください。
- 汗をかいたら拭き取ってください。
- 本器や身体に異常を感じたら使用を中止してください。
- 使用中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。

※詳しくは、P.2～13「正しく安全にお使いいただくために」を参照ください。

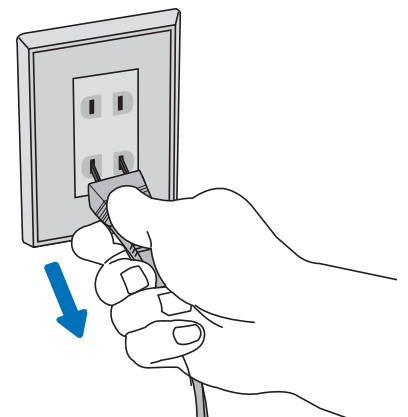
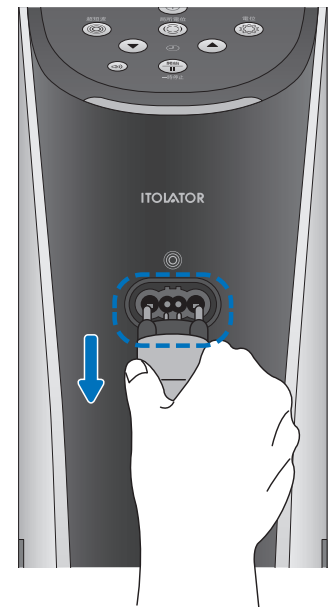
6 治療の終了と延長

- タイマーが0分になると、「治療が終了しました」と音声で鳴り、出力が自動的に切れます。
- 治療を引き続き行う場合は、本体の操作方法「⑤ 治療を開始する」に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して、電源を切ります。

※治療中ならびに治療の終了後、本体内部を冷却するファンがまわります。ファンは治療の終了後約3分で止まります。

7 整理と保管

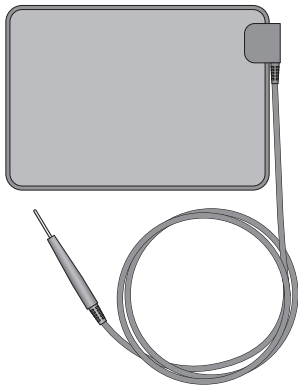
- 電源が切れていることを確認してから使用した導子を出力口から抜き、電源コードのコンネクター、プラグを本体の電源コード差込口およびコンセントから抜いてください。
- 次の使用に支障がないように、本体および付属品を清掃にし、整理保管してください。



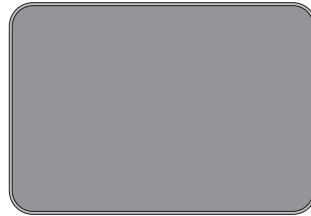
電位

基本的な使用例

治療にあたって



電床マット



絶縁マット



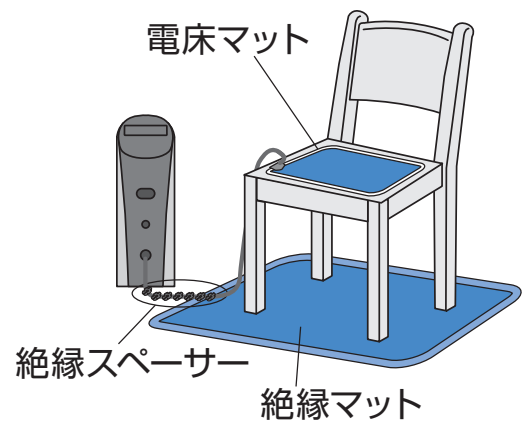
絶縁スペーサー(7個)

電床マット設置場所

電床マットは、必ず椅子の上に敷いてください。

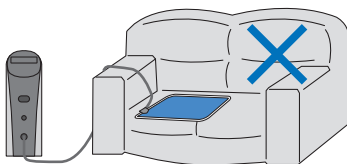
金属製のイスを使用すると、電気エネルギーが逃げてしまいます。木製のイスを使用してください。

必ず絶縁マットをイスの下に敷いてください。また、必ず絶縁スペーサーを設置してください (P.31 参照)。

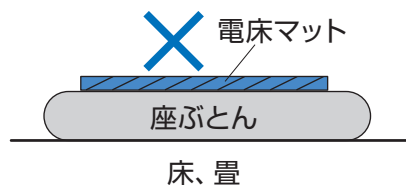


以下のような方法では使用しないでください。

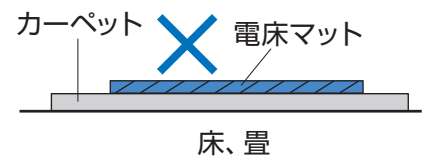
ソファの上



座布団の上



カーペットの上



⚠ 警告 電床マットについて

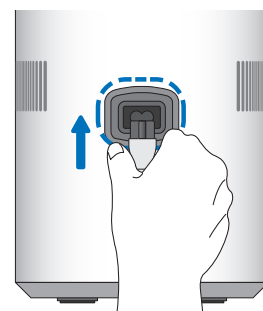
- 電気を通しやすいもの（金属製のもの、湿気のあるもの）の上や下には敷かないでください。
- 身体から金属製のもの（貴金属やアクセサリなど）を外してください。
- 電床マットの上では絶対に超短波治療器を使用しないでください。

電位

ご使用前の準備

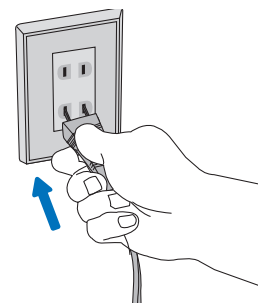
1 電源コード(コネクター)を差し込む

- 電源コードのコネクターを本体の電源コード差込口に差し込みます。



2 電源プラグを差し込む

- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。

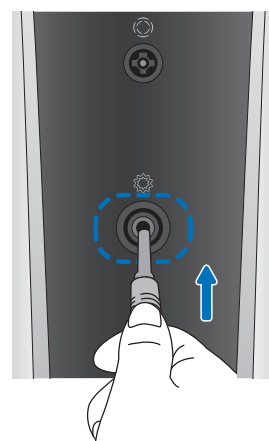


3 絶縁マットおよび電床マットを治療する場所に敷く

- 絶縁マットおよび電床マットの設置例はP.30を参照してください。

4 導子のプラグを差し込む

- 電床マットのプラグを電位出力口に確実に差し込みます。
※治療開始/一時停止スイッチが点灯するまで差し込んでください。



5 電床マットのコードに、絶縁スペーサー(7個)を取り付ける

※絶縁スペーサーは必ず取り付けてください。絶縁スペーサーを取り付けずに使用すると、放電が発生し、火災の原因となります。

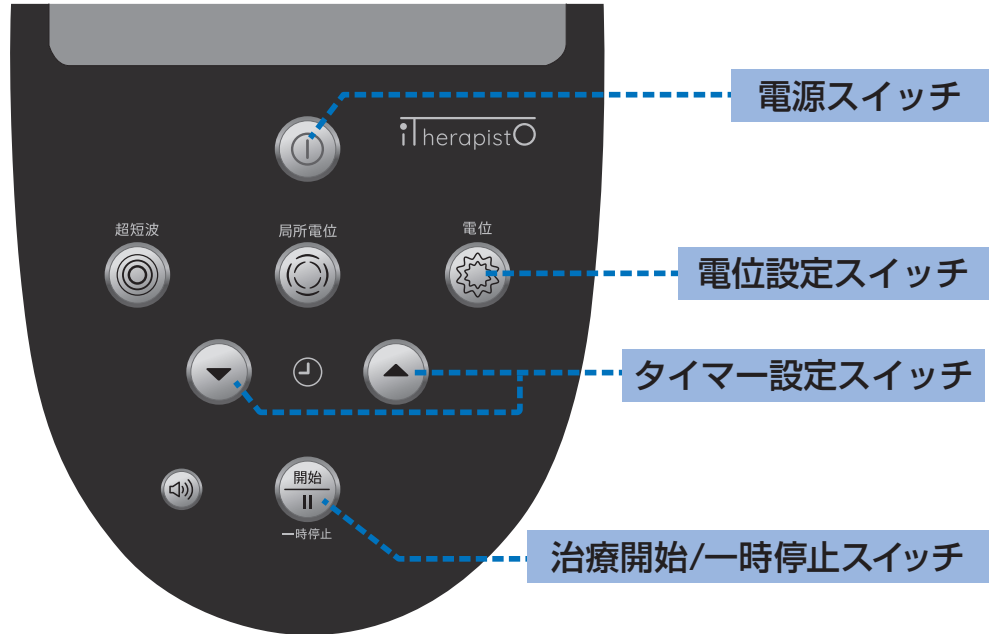
※絶縁スペーサーは、等間隔に7個とも取り付けてください。



電位

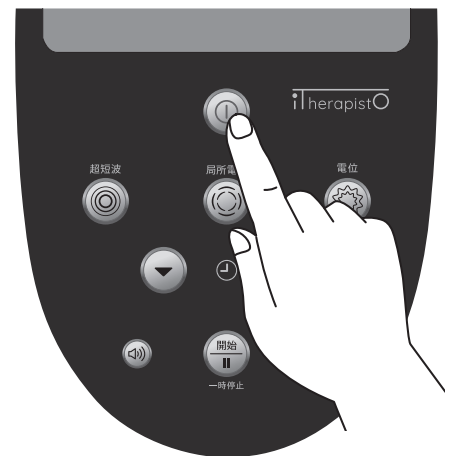
本体の操作方法

[操作パネル]



1 電源を入れる

- 電源スイッチを押して電源を入れます。
- 電源を入れると全てのLEDが点灯し、起動音が鳴ります。

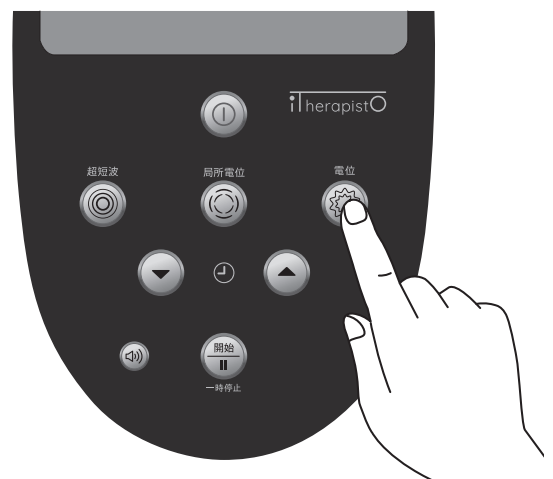


2 治療モードを選択する

- 電位設定スイッチを押して、電位モードを選択します。

初期状態では「出力：4200vp」、「タイマー：20分」の設定が表示されます。

※次回からは、前回使用した設定が表示されます。

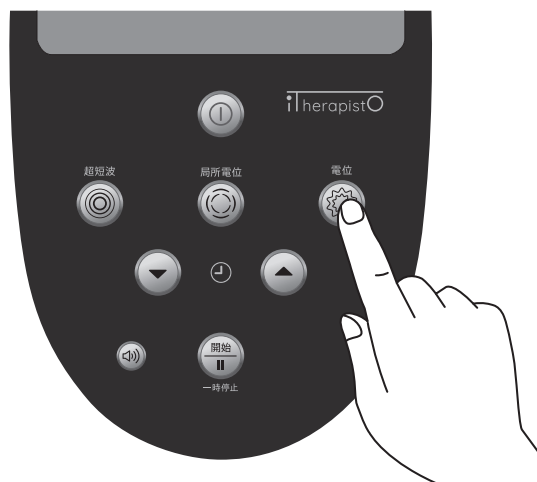


3 出力を設定する

- 電位設定スイッチを押して、出力を選択します。

スイッチを押すごとに、出力設定が以下のように変わります。

4200vp → 8500vp → 12700vp

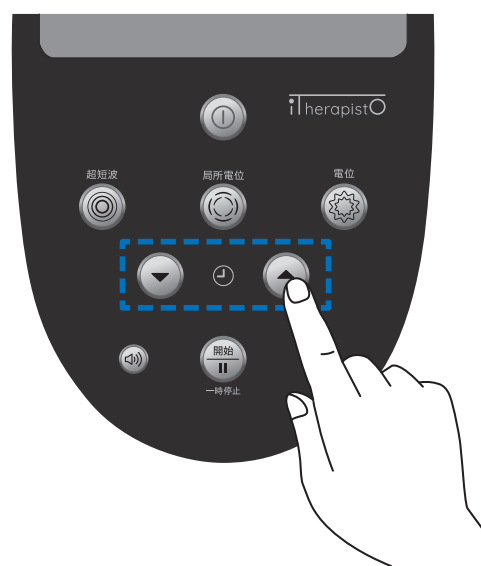


4 タイマーを設定する

- タイマー設定スイッチ ▲ ▼ を押して、治療時間を選択します。

電位モードでは、次の治療時間が選択できます。

5分、10分、20分、30分、40分、50分、60分



5 治療を開始する

- 治療開始/一時停止スイッチを押し、治療を開始します。

治療が開始すると、出力LEDが点灯します。

「電位治療を開始します」のアナウンスが流れます。

※導子が正しく接続されていない場合、「導子を接続してください」の音声再生されます。その際は、導子を接続した上で再度治療開始/一時停止スイッチを押してください。

※エラーが発生した場合、導子を正しく接続し、電源を入れ直してください。



電位

本体の操作方法 (つづき)

出力の変更

- 出力中に**電位設定スイッチ**を押すことで出力を変更できます。

中断と再開について

- 治療を中断する場合は、**治療開始/一時停止スイッチ**を押します。
タイマー表示が点滅します。
- 治療を再開する場合は、**治療開始/一時停止スイッチ**を押します。

⚠ 中断時の注意 長時間中断する場合は、必ず電源を切ってください。

エラーについて

治療中に導子が抜けたり、異なる機能の導子が接続された場合、警告音が鳴りエラーメッセージが表示されます。その場合、導子を差し直すか、異なる導子を抜き、電源を切って手順①から再度行ってください。

※詳しくは、P.42「エラーメッセージ」を参照ください。

⚠ 注意

- 使用前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動することを確認してください。
- 濡れた手でコード類の抜き差しをしないでください。
- コード類はプラグを持って抜き差ししてください。
- 治療をしながら電話（携帯電話を含む）を使用しないでください。また、使用中の電話機の近くで治療しないでください。
- 他の電気製品の近くでは異常を起こす恐れがあるので使用しないでください。
- 使用中、プラグの抜き差しをしないでください。
- 使用中、他の人や金属類に触れないでください。
- 汗をかいたら拭き取ってください。
- 本器や身体に異常を感じたら使用を中止してください。
- 使用中にコードに触れないでください。

※詳しくは、P.2～13「正しく安全にお使いいただくために」を参照ください。

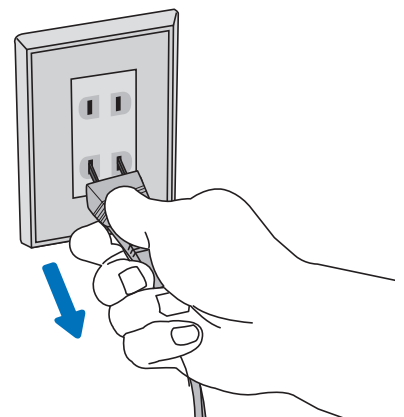
6 治療の終了と延長

- タイマーが0分になると、「治療が終了しました」と音声再生され、出力が自動的に切れます。
- 治療を引き続き行う場合は、本体の操作方法「5 治療を開始する」に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して、電源を切ります。



7 整理と保管

- 電源が切れていることを確認してから使用した導子（導子）を出力口から抜き、電源コードのコンネクター、プラグを本体の電源コード差込口およびコンセントから抜いてください。
- 次の使用に支障がないように、本体および付属品を清掃にし、整理保管してください。



局所電位 基本的な使用例

治療部位、治療法によって選んでください。

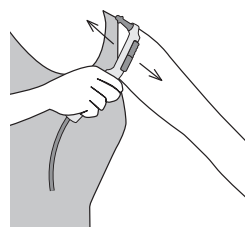
患部の局所治療時



タッピング法:局所電位導子が軽く皮膚に接触する程度の力で、1秒間に1～3回くらい刺激します。
プッシング法:治療部位を局所電位導子の先端で約3秒間「グツ」と押し「パツ」と離す、これを繰り返します。

※刺激が強い場合は、お肌にあて布をしてご使用ください。

肩など、広範囲治療時

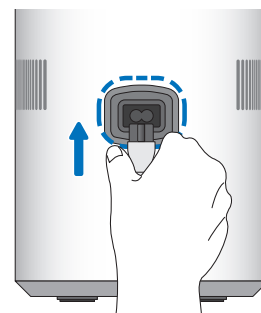


ローラー部分を転がすようにして使います。電極部分が大きいため、広範囲に治療できます。

局所電位 ご使用前の準備

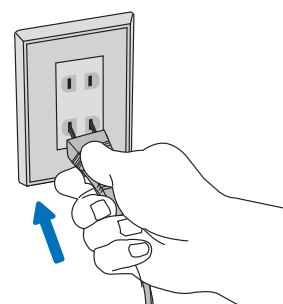
1 電源コード(コネクター)を差し込む

- 電源コードのコネクターを本体の電源コード差込口に差し込みます。



2 電源プラグを差し込む

- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。



3 導子のプラグを差し込む

- 局所電位導子のプラグを局所電位出力口に確実に差し込みます。

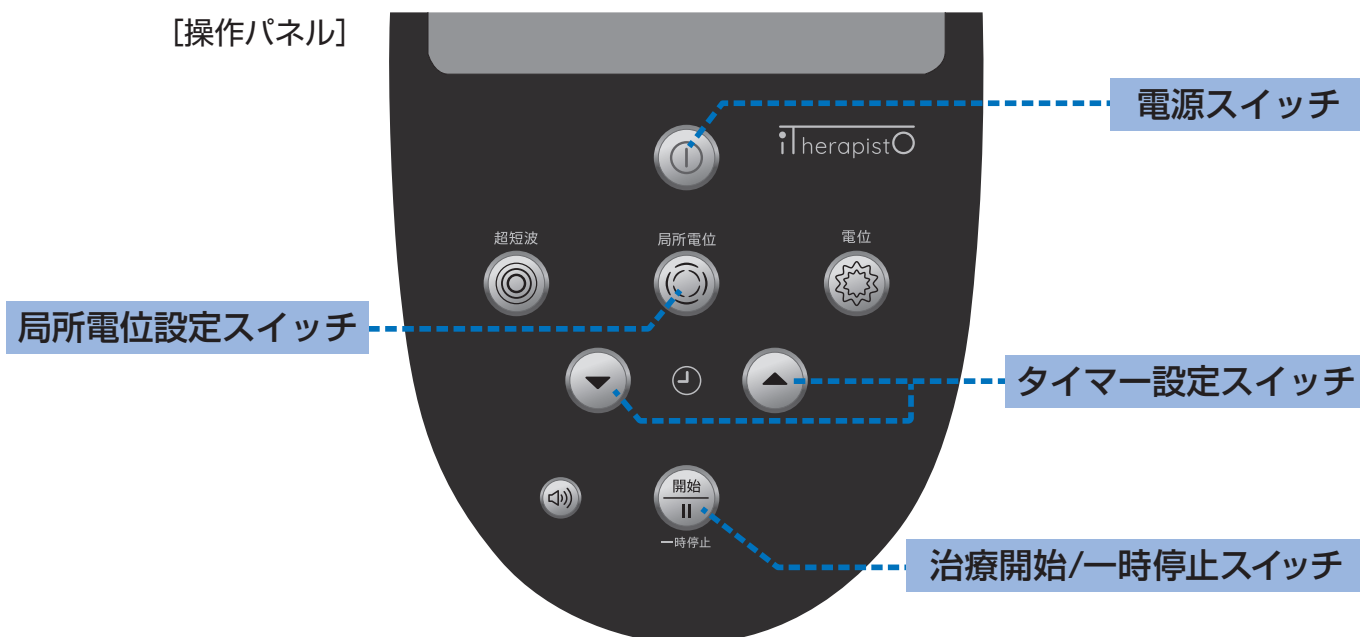
※治療開始/一時停止スイッチが点灯するまで差し込んでください。



※詳しくは、P.2～13「正しく安全にお使いいただくために」を参照ください。

局所電位 本体の操作方法

[操作パネル]



1 電源を入れる

- 電源スイッチを押して電源を入れます
- 電源を入れると全てのLEDが点灯し、起動音が鳴ります。



2 治療モードを選択する

- 局所電位設定スイッチを押して、局所電位モードを選択します。

初期状態は「タイマー：20分」の設定が表示されます。

※局所電位モードは出力の設定ができません。

※次回からは、前回使用した設定が表示されます。



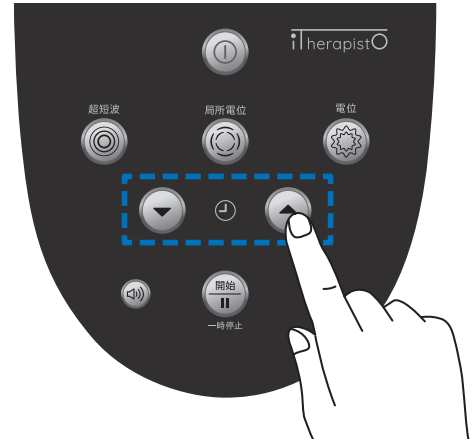
局所電位 本体の操作方法 (つづき)

3 タイマーを設定する

- **タイマー設定スイッチ▲▼**を押して、治療時間を選択します。

局所電位モードでは、次の治療時間が選択できます。

5分、10分、15分、20分



4 治療を開始する

- **治療開始/一時停止スイッチ**を押し、治療を開始します。

治療が開始すると、**出力LED**が点灯します。

「局所電位治療を開始します。電位治療用の電床の上では使用しないでください」のアナウンスが流れます。

※導子が正しく接続されていない場合、「導子を接続してください」の音声再生されます。その際は、導子を接続した上で再度**治療開始/一時停止スイッチ**を押してください。

※エラーが発生した場合、導子を正しく接続し、電源を入れ直してください。



中断と再開について

- 治療を中断する場合は、**治療開始/一時停止スイッチ**を押します。
タイマー表示が点滅します。
- 治療を再開する場合は、**治療開始/一時停止スイッチ**を押します。

⚠ **中断時の注意** 長時間中断する場合は、必ず電源を切ってください。

エラーについて

治療中に導子が抜けたり、異なる機能の導子が接続された場合、警告音が鳴りエラーメッセージが表示されます。その場合、導子を差し直すか、異なる導子を抜き、電源を切って手順①から再度行ってください。

※詳しくは、P.42「エラーメッセージ」を参照ください。

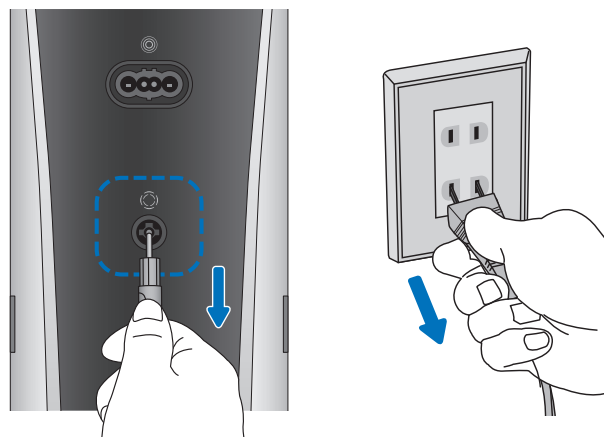
5 治療の終了と延長

- タイマーが0分になると、「治療が終了しました」と音声が出て出力が自動的に切れます。
- 治療を引き続き行う場合は、本体の操作方法「④ 治療を開始する」に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチを押して、電源を切ります。



6 整理と保管

- 電源が切れていることを確認してから使用した導子を出力口から抜き、電源コードのコネクター、プラグを本体の電源コード差込口およびコンセントから抜いてください。
- 次の使用に支障がないように、本体および付属品を清浄にし、整理保管してください。

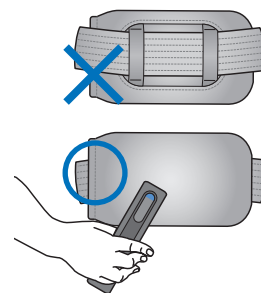


テスターの使い方

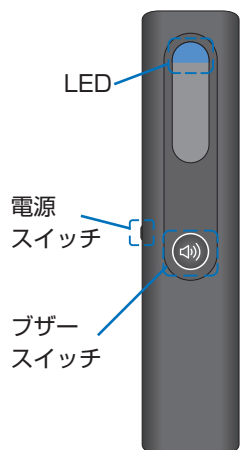
超短波、電位の出力を検波・検電できます。

〈使用例〉

超短波



電位



LED

超短波、あるいは電位が出力されていると、LEDが発光します。

超短波:オレンジ色 電位:青色

電源

電源スイッチを押してから1分間、LEDとブザーにて検波・検電可能になります。(1分後に自動でOFFになります)

ブザー

ブザースイッチを押しながら、通電中の超短波導子あるいは電床マットに近づけるとブザー音が鳴ります。

検波方法

1 治療の準備から出力までの操作方法手順に従ってください。

※テスターで検波・検電できるのは、通電中の超短波導子および電床マットのみです。

局所電位導子を検電することはできません。

※初回使用時は、テスターに乾電池をセットしてください。(P.41参照)

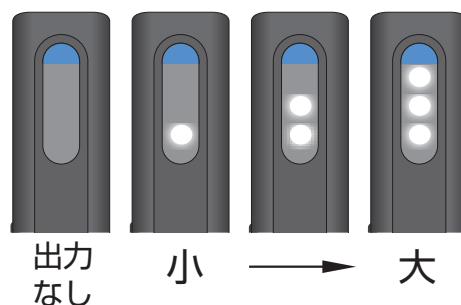
2 電源スイッチを押してください。

※電源スイッチを押して1分が経過すると、電源は自動でOFFします。

3 テスターを手に持ち、通電中の導子あるいは電床マットに近づけます(使用例参照)。テスターのLEDが発光すれば正常です。

※出力が低い場合(超短波:LOW、電位:4200vp) LEDが発光しないことがあります。そのときは、ブザースイッチを押してブザー音で確認してください。

※超短波を検波するとき、テスターをあてる導子の場所によってLEDのつき方が変わります。



検波時にブザースイッチを押すと、押している間ブザー音が鳴ります。

4 使用後は、テスターを本体背面のテスター収納ポケットに収納してください。(P.17参照)



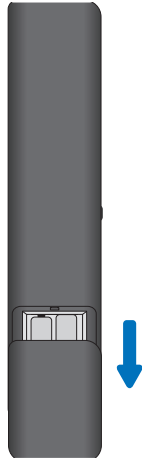
検波・検電方法の ご注意

- 他の製品にテスターを使用しないこと。
- 導子コードが絡んだり、巻き付いた状態で行わないこと。
- 長時間の検波・検電は避けること。
- 出力中に、電床マットの上にテスターを置かないこと。電床マットの上にある場合は、必ず出力を止めてからテスターを手取ること。

電池交換

電源スイッチを押してもLEDが点灯しない場合は、電池を交換してください。

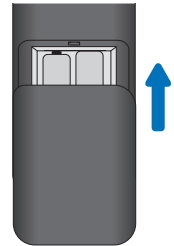
1 背面の電池カバーを外します。



2 単3形アルカリ乾電池（2本）を外し、新しいものと交換します。



3 電池カバーを取り付けます。



音量調節

以下の手順で、音量調節ができます。

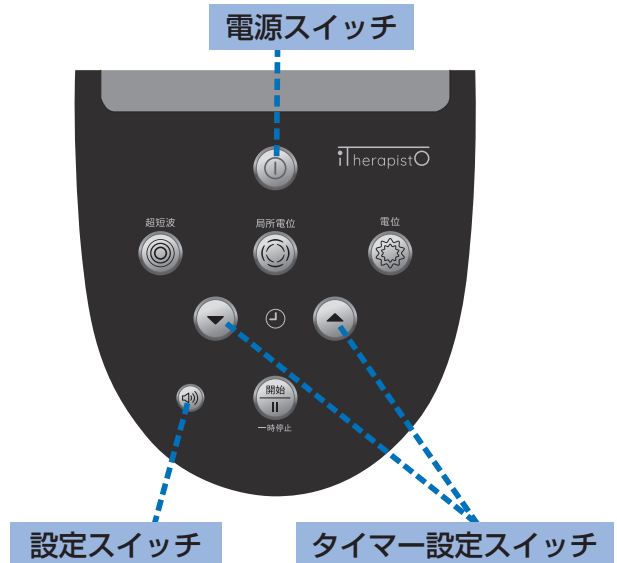
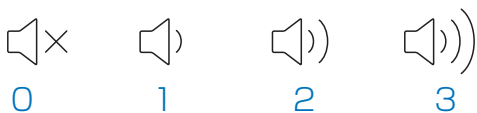
1 電源スイッチを押し、電源を入れます。

2 設定スイッチを押します。

※音量調節は、超短波・電位の出力中にも可能です。

3 音量調節画面が表示されたら、**タイマースイッチ ▼ ▲** を押して音量を調節します。

音量は、無音、小、中、大の4段階に調節することができます。



音量調節画面



4 音量調節が終わったら、**設定スイッチ**あるいは**各治療モードスイッチ**、**治療開始/一時停止スイッチ**を押して元の画面に戻ります。

輝度調節

以下の手順で、LCDの輝度を調節できます。

- 1 電源スイッチを押し、電源を入れます。
- 2 設定スイッチを2秒以上、長押しします。

※輝度調節は、超短波・電位の出力中にも可能です。

※輝度は2段階で設定ができます。

エラーメッセージ

画面表示	対処方法
システムエラーです。 電源を入れ直してください。	
異常を検知しました。 超短波を停止します。 電源を入れ直してください。	電源スイッチを押し、電源を切り、再度電源を入れてください。 それでもエラーが表示される場合は、使用を中止し、販売店へご連絡ください。
異常を検知しました。 電位を停止します。 電源を入れ直してください。	
複数の導子が同時に接続されています。 使用する導子以外は取り外し、電源を入れ直してください。	使用する導子以外を取り外し、電源スイッチを押し、電源を切り、再度電源を入れてください。
オープンエラーです。 電源を入れ直してください。	電源スイッチを押し、電源を切り、再度電源を入れてください。

電子療法について

電子療法は、いきなり長時間使用されても効果が増すというものではありません。徐々に身体を慣らしていくことが大切です。

また、使用当初は一時的に頭痛・倦怠感・ふしぶしの痛みなどを感じる場合があります。その場合は治療を2～3日お休みください。特にこの症状は低血圧、貧血、虚弱体質の方に出やすいので、必ず最初は弱めから始めてください。

故障かな？と思ったら

●修理・サービスを依頼される前に、次の表に従ってお確かめください。

症 状	調べるところ・原因・対策
電源が入らない	電源プラグが100Vコンセントに差し込まれていますか？
出力スイッチを押しても出力LEDが点灯しない	導子がきちんと差し込まれていますか？ ※P.42「エラーメッセージ」を参照ください。

●電源プラグやコネクター、コード類は、定期的に点検・交換してください。



注意

3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご理解をお願いいたします。

症 状	原因・対策
コードのカバーが傷んでいる	電源プラグやコネクター、コード類が傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源プラグやコネクター、コードの一部が熱い	
使用中にコード類を曲げたり伸ばしたりすると、通電が停止する	

お客様 センター

ご不明な点がございましたらお気軽にお電話ください。

TEL.048(254)1019 FAX. 048(254)1049

受付：平日(月～金曜日) 午前10時～午後5時30分 (土・日・祝日休み)

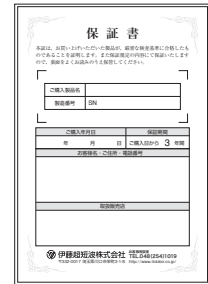
※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。
ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

お客様安心サービス

保証書とユーザー登録カードについて

保証書について

修理などアフターサービスを受ける際に必要となりますので大切に保管してください。保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店または伊藤超短波株式会社にお問い合わせください。



ユーザー登録カードについて

ご住所・生年月日・お買い求めの販売店などをご記入の上、郵便ポストに投函してください。

※ご記入いただく個人情報、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発などのために、弊社及び販売店が利用させていただきます。

ユーザー登録カード (ご記入は簡便で結構ですと記載されています)

フリガナ	ご購入者名
ご住所	〒 月 日
生年月日	年 月 日 歳 性別 男 女
ご住所	
電話番号	FAX

※ご記入いただく個人情報、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発などのために、弊社及び販売店が利用させていただきます。
※フリガナはフリガナで記入し、敬称は省略してください。http://www.itolator.co.jp/

アフターサービス

機器の操作方法や治療法、その他のお問い合わせは

お客様センター

TEL.048(254)1019 FAX.048(254)1049

受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。
ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

ISO 認証取得

当社は医療機器品質マネジメントシステムISO 13485、
環境マネジメントシステムISO 14001(工場)を取得しています。

製造販売元  伊藤超短波株式会社

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8 ☎048(254)1015
<https://www.itolator.co.jp/>

直販営業部
☎048(254)1035

代理店営業部：営業所
東日本営業所(埼玉県) ☎048(254)1016 西日本営業所(広島県) ☎082(292)3320

販売店